

ロボット開発ベンチャーのステラ技研(川崎市、林健治社長)はビルの窓ふきや壁面修理の足場に使われるゴンドラ向けに、左右の揺れを抑える走行安定装置を開発した。装置の無限軌道に多数の吸盤がついており、吸盤でゴンドラの位置がずれないようにする。ゴンドラは突風による落下事故も多いことから足場の安定が課題だった。来年三月までに商品化する。

装置はゴンドラの壁面側に取り付けて利用する。壁に吸着す

ビル窓ふき用ゴンドラ

壁に吸いつき 移動もスムーズ

る瞬間に吸盤の内部を真空にすることで吸着力を高める。また吸盤に特殊素材を採用して、ガラスやコンクリート、金属のほ



ゴンドラは突風による落下事故が多く足場の安定が課題だった

ステラ技研、走行安定装置

か凹凸のあるタイル面などにも吸着するようにした。ゴンドラが昇降する際には無限軌道が回転し、ゴンドラの動きを止めることなく移動できる。

ゴンドラの安定装置としては、ビルの壁面に設けたレールに沿ってゴンドラを走らせるものや、固定式の吸盤で取り付ける装置はあるが、高コストでビルの完成後に設置するのは難しかったり、作業効率が悪かったりする問題があった。

ステラ技研は二〇〇四年の設立。壁面走行ロボットの開発に取り組んでいる。